



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.54 No.6 (June 2013)

【特集：Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of SAINT 2012】

- Editor's Message to Special Issue on Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of SAINT 2012
Hiroyuki Ohsaki
- Estimating the Relative Importance of Nodes in Social Networks
Carl K. Chang, et al.
- Automatic Parallelism Tuning Mechanism for Heterogeneous IP-SAN Protocols in Long-fat Networks Takamichi Nishijima, et al.
- A Configuration of Location Free Network Applicable to Location Dependent Services Yoshihiro Ohsumi, et al.
- A Site-Exit Router Selection Method Using Routing Header in IPv6 Site Multihoming Yong Jin, et al.
- Jobcast – Parallel and Distributed Processing Framework
Ikuo Nakagawa, et al.
- An Account Provision and Management Architecture for Messaging Services in Emergencies Kazuyuki Tasaka, et al.
- Zero-Watt Networked Standby: Reducing Power Consumption of Home A/V Network Systems Yoshimichi Tanizawa, et al.
- A Method for Accelerating Flow-Level Network Simulation with Low-Pass Filtering of Fluid Model Yusuke Sakumoto, et al.
- Evaluation of Coexisting Enhanced TCP Flows on High-Speed Internetworking Satellite (WINDS)[†] Hiroshi Yamamoto, et al.
- Collaborative Air Traffic Decision Support based on Web-based Intelligent argumentation Xiaoqing Frank Liu, et al.
- An Improved Classification Strategy for Filtering Relevant Tweets Using Bag-of-Word Classifiers
Muhammad Asif Hossain Khan, et al.

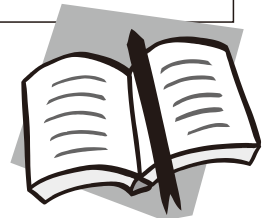
- DNS Traffic Analysis – CDN and the World IPv6 Launch –
Kazunori Fujiwara, et al.
- A Behavior-Based Method for Detecting Distributed Scan Attacks in Darknets Yaokai Feng, et al.
- Analyzing Spatial Structure of IP Addresses for Detecting Malicious Websites
Daiki Chiba, et al.

【一般論文】

- Event-B による列車監視システムのモニタリング要件の検証
佐藤直人 他
- 自宅からのリモートアクセスを可能にする GSRv2 の提案と評価
鈴木健太 他
- R/S Pox レッグライン特性* 高橋秋典 他
- VocaListener2: ユーザ歌唱の音高・音量に加えて声色変化も真似る歌声合成システム
中野倫靖 他
- 縦スクロール表示された文章の快適な読み速度と眼球運動
森田ひろみ 他
- 国際電話会議の負担を軽減する手法の提案と評価 山下直美 他
- The Effect of Using Photographs in Idea Generation Support System* Tomohiro Kokogawa 他
- クラウドファイルバックアップシステムにおける複数ポリシーに基づいた削除保証手法
手塚 伸 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (June 2013)

【Transactions on Bioinformatics Vol.6】

- Improved protein-ligand prediction using kernel weighted canonical correlation analysis
Raissa Relator 他

【論文誌 データベース Vol.6 No.3】

- 特徴抽出を目的とした文書クラスタからの一貫性障害要素除去
佐藤進也 他
- ブートストラッピングによる Web からの属性名抽出
野村慎太郎 他
- ソーシャルサーチのための効率的な検索アルゴリズムの提案
三浦大樹 他
- An Online Method for Trajectory Simplification Under Uncertainty of GPS
Guangwen Liu 他
- プライベート問合せにおける問合せ頻度を用いた制約緩和手法
川本淳平 他
- 視聴者の時刻同期コメントを用いた楽曲動画の印象分類
山本岳洋 他

- マイクロブログから抽出したユーザの習慣に基づく行動推定に関する研究
田中成典 他
- デフォルメ地図検索のための地理特徴と画像特徴の依存関係抽出とその応用
松尾純輝 他
- Pjoin: MapReduce における高速ジョイン処理
鬼塚 真 他
- 視線情報からの注目語抽出に基づく検索意図のリアルタイム推定
梅本和俊 他
- Web 検索時の行動情報を用いたクエリ修正タイプの予測
梅本和俊 他
- 視聴者反応と音響特徴量に基づくサムネイル動画の生成手法
中村聡史 他
- 位置ベース SNS を通じた群衆の移動に基づく都市空間の近接性分析
若宮翔子 他
- Tag Quality Improvement for Social Image Hosting Website
Jiyi Li 他
- 交通系 IC カードを利用した鉄道輸送障害時の影響を定量化する方法の研究
角田史記 他

論文なんて関係ないと思っている方も デジタルプラクティスに論文を書いてみませんか？



「デジタルプラクティス」は、本学会が発行している JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションに次ぐ第 4 の論文誌です。現在、皆様からの論文募集中ですので、以下の案内をご覧になり奮ってご投稿ください。

▶ http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/shippitsu_annai.html

JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションは従来の学術的な成果をターゲットにしていますが、**デジタルプラクティスは現場の知恵, 創意工夫, 教訓など実践的な知見をターゲット**にしています。現場にいる他の IT 技術者にとって役に立つ実践的な知見なら自分も持っていると思われた方は少なくないと思います。そんな方にこそデジタルプラクティスの論文を書いていただきたいと思っています。

論文の形にまとめることは、まず、世の中の多くの人々に皆様の知見が行き渡ること、使ってもらえる機会が増えることを意味します。次に技術者としての長期的なキャリアを考えたとき、論文はこれまで自分がやってきた仕事や成果を永続的な形で残す最も有効な方法の 1 つになります。つまり、論文は時間と空間を越えて知見をスケールさせるツールなのです。

これからの時代、IT 技術者は組織に閉じこもるのではなく、一人一人が世の中から頼られるような存在にならなければならないと思います。それが IT 技術者がより充実して活躍できる世の中であり、デジタルプラクティスはそのような世の中の訪れを後押ししたいと思います。

実際にデジタルプラクティスへ投稿されるときは、どうぞもっとリラックスしてください。論文を書き馴れていない著者の方々のために、2 ページ以内の概要原稿を受け付けるようにしました。以下のような投稿準備フォームも用意しました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/outline-guideline.html>

そして、各論文ごとに個別に編集担当者を割り当てて、共同推敲という著者と編集担当者が協調して論文を改訂するプロセスを取り入れました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/shinsa-tebiki.html>

詳しくはデジタルプラクティスの Web ページをご覧ください。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html>



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「象と象使い」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今月号の矢入さんのコラムは面白かったです。システムも人が作るもの。使う人のことを考えて温かみのあるシステムが作られるとよいと思いました。(匿名希望)

■巻頭コラムの著者と同様に、「象と象使い」のような協調関係によってユーザに心地よい使用感を与えるシステムを実現するには何が必要なのだろうか、と考えてみたくなった。(匿名希望)

特集「モビリティの進化」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■歩行者と自転車がひとくりにされているようで疑問です。高齢社会でもあり、歩行者にとっては自転車も怖い車両でしょう。ITSの文脈では、自転車(やバイク)が軽んじられているのではないのでしょうか。(千葉一博)

■今号は大変内容が濃く、全体的に興味深く読ませていただきました。特集「モビリティの進化」はこれまでの日本の取り組みやその背景についてよく述べられており、ICTがもたらした交通社会の現状およびこれからの課題についても言及されており、とても興味を惹かれました。今後もこの課題について動向を追ってみたいと思いました。(中村佳祐)

「3. 自動運転・隊列走行の実現に向けて」

■自動運転・隊列走行に関する特集記事は、技術的な内容が分かりやすく解説されており、大変興味深く読ませていただきました。Googleや自動車メーカーによる取り組みが各種メディアで頻繁に取り上げられるなど、自動運転技術への期待は近年とりわけ高まってきているように感じる。技術動向や実証実験の事例等について、今後もぜひ、特集・解説記事等で取り扱っていただきたい。(匿名希望)

「9. 海外のITSの動向と標準化」

■ITSの国際標準はどの程度の影響があるもので、各国ともに国際標準に適合することが法的にも規定されていくものなのか、あるいは国際標準とは異なる技術や国際標準を上回る独自技術を用いることも可能なのかといったことについても触れられているとよかった。(匿名希望)

特集「新年度企画：研究会活動紹介」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報処理学会の研究会が多すぎるように思います。重なっている分野もあると思います。現状では、各研究室が寄り集まって 세미나をやっているのとあまり変わらないものもあるように思えます。休眠状態のものもあるようです。Appleではないですが、選択と集中をされた方がよいと思います。(匿名希望)

■研究会に興味を持った場合、どのようにアクセスすればよいか分からない。(匿名希望)

■まったく記述のない研究会もあり、紙面のスペースを無駄にしている。原稿が間に合わないのなら、上/下とか2回に分けて掲載すべきではないだろうか。(匿名希望)

■非常に良い企画だと思いました。各研究会の(山下記念受賞研究などを例に挙げて)研究動向紹介があつたりすると、より一層の会の活性化に繋がるかもしれないので、そういった企画が今後あると良いかなと思いました。(大上雅史)

■普段、あまり他の研究会の活動を知ることがないため、面白い特集だと思いました。(中村佳祐)

解説「計算下界の解明」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■私がかつて所属していた古巣で行われている研究ともかわりが深かったこともあり、改めて興味深く読ませていただきました。計算可能性についてはどんなに計算機が高速化、大容量化したとしても、常にソフトウェア設計についてまわる根本的な課題であるため、多くの技術者・研究者にとって関心を持つべきテーマであるし、こうした解説をすることは良い試みだと思いました。(中村佳祐)

教育コーナー「べた語義：コンピュータ教育に携わる人はS. Papert, Alan C. Kayに還ろう！」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■わざわざまわりくどい表現を使っているように感じました。それから、「教授できる」ではなく「享受できる」なのでは？(単なるかな漢字変換ミスなら良いのですが…)(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：試作教科書活動と「次期」高校情報教育の内容提案」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■他の学会で似たような学会発表を拝見したことがあります。新規性はどうだったのでしょうか？医療系の教科書やカリキュラムの話も情報処理学会で論じられていました。この記事だけが、掲載されるのは問題だと思われる。(匿名希望)

■今後のよりよい高校情報教科書の模索と提案について、興味深く拝読しました。アプリケーションの操作方法に関する

教育を求める声は、さまざまな課程の非専門的な情報処理科目全般で、今でも一定数存在しているように感じます。教えるべき本質的要素と求められる物との兼ね合いに関して、現状よりもさらに広く議論されればよいと思いました。

(梅川通久)

解説「スーパーハイビジョンの映像パラメータと国際標準化」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■規格として提示される数値にも、技術的な理由や妥協などの由来があることが分かり、親しみが持てるようになった。

(匿名希望)

■スーパーハイビジョンについては、動向を知らず、UHD TV との関係も詳しく知らなかったが、4K と 8K の画質の違いなども図示されており、今回の記事で満足のいく知識が得られた。

(匿名希望)

コラム「IT 好き放題：常識の ICT 非常識の ICT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「物質的に裕福になったが精神的に貧困になっていないか」とのフレーズは至るところで聞かれる酷いフレーズだ。物質的に貧困になれば精神的に裕福になるのか。物質的な変化に伴い社会が変革し、それに人が追従する過渡期であるだけであり、あたかも心を失ったかのような暗黙の結論を暗に含ませるべきことではない。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■この1年間モニタとして参加しましたが、小職は研究開

発部門の管理部門に属しており、直接は研究開発に携わっておりません。したがって、技術的な個所には理解できない点もありましたが、弊社とかかわりのある技術等の特集記事につきましても、色々と興味を持って読みました。今後とも、技術を深く掘り下げる反面、専門家でない人にとって読みやすい解説記事にも力を入れていただきたいと思います。今年度1年間モニタとしてお役に立てませんでした。色々とありがとうございました。

(匿名希望)

■実際のソフトウェア開発に使える小技集的な記事(の連載)を希望します。

(五味 弘)

■今後取り上げてほしいテーマ：ビッグデータ、データ解析、データサイエンス。

(石井一夫)

■宇宙開発を支える技術、特に宇宙船で使用されているシステムや技術について取り上げてほしい。

(匿名希望)

■今後取り上げてほしいテーマ：介護サービスを支える IT、超高齢化社会と情報処理技術。

(西尾建男)

■巻頭コラムが文化系の人のものであるもので、文理融合という意味で好ましい。本来、文化系・理科系と単純に分かれるものではないので、このような視点を気づかせてくれる記事があるのがよい。ただ、巻頭以外では取り上げにくいであろうと思う。

(匿名希望)

【本欄担当 花谷嘉一、尾張正樹/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「オーバーレイを考慮したインターネットと運用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-P.html	6月17日(月)		
	論文誌「インタラクシヨンの理解および基盤・応用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-R.html	6月21日(金)		
	論文誌「Multiagent-based Societal Systems」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-V.html	6月23日(日)		
	論文誌「情報システムの新展開」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-IS.html	8月12日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2013」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-T.html	9月6日(金)		
	論文誌「地域貢献・復興」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-N.html	10月21日(月)		
6月24日(月)	第151回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg151.html	5月7日(火)	当日のみ	リンクステーションホール 青森(青森市文化会館)
6月26日(水)	連続セミナー 2013 第1回「ビッグデータ活用のための機械学習技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
6月27日(木) ~ 6月28日(金)	第34回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio34.html	4月10日(水)	当日のみ	沖縄科学技術大学院 大学メインキャンパス
6月27日(木) ~ 6月28日(金)	第4回デジタルコンテンツクリエーション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc4.html	5月23日(木)	当日のみ	神奈川工科大学
6月28日(金)	第30回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi30.html	4月30日(火)	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
7月6日(土)	第120回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce120.html	5月16日(木)	当日のみ	青山学院大学
7月10日(水) ~ 7月12日(金)	マルチメディア分散・協調とモバイル (DICOMO) 2013 シンポジウム http://www.dicomo.org/2013/index.html	5月17日(金)	6月6日(木)	十勝川温泉 ホテル大平原
7月12日(金)	東海支部主催講演会「計算の可逆性制約を活かした新しいプログラミング言語」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋大学
7月17日(水) ~ 7月18日(木)	第181回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se181.html	5月24日(金)	当日のみ	和歌山県立情報交流 センター ビッグ・ユー
7月18日(木) ~ 7月19日(金)	第62回コンピュータセキュリティ・ 第6回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec62spt6.html	5月14日(火)	当日のみ	札幌コンベンション センター
7月18日(木) ~ 7月19日(金)	第81回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm81.html	5月17日(金)	当日のみ	日本女子大学 (目白キャンパス)
7月18日(木) ~ 7月19日(金)	第212回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl212.html	6月5日(水)	当日のみ	はこだて未来大学
7月22日(月) ~ 7月23日(火)	第94回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps94.html	3月21日(木)	当日のみ	モンテカルロリゾート (ラスベガス)
7月22日(月) ~ 7月23日(火)	第157回データベースシステム・ 第111回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs157ifat111.html	5月27日(月)	当日のみ	北海道大学
7月25日(木) ~ 7月26日(金)	第90回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd90.html	6月17日(月)	当日のみ	岩手県立大学アイーナ キャンパス学習室1
7月25日(木) ~ 7月27日(土)	第97回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp97.html	5月10日(金)	当日のみ	宮城県刈田郡蔵王町 遠刈田温泉
7月29日(月) ~ 8月1日(木)	第16回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2013) http://cvim.ipsj.or.jp/miru2013/index.php		当日可	国立情報学研究所
7月30日(火)	連続セミナー 2013 第2回「G空間情報処理におけるビッグデータとその応用」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
7月31日(水)	第39回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi39.html	5月27日(月)	当日のみ	青山学院大学
8月1日(木)	第22回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot22.html	5月26日(日)	当日のみ	武蔵大学 江古田キャンパス
8月3日(土)	第99回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch99.html	6月3日(月)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス
8月21日(水) ~ 8月22日(木)	DAシンポジウム 2013 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2013.html	5月17日(金)		下呂温泉 水明館
8月22日(木) ~ 8月23日(金)	平成25年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html	6月14日(金)		会津大学
8月31日(土) ~ 9月2日(月)	第100回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html		当日のみ	東京大学
9月2日(月) ~ 9月3日(火)	第188回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim188.html	6月18日(火)	当日のみ	鳥取大学
9月2日(月) ~ 9月3日(火)	第10回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/12th_webology/index.html	7月1日(月)	定員になり次第	かんぼの宿 有馬
9月4日(水) ~ 9月6日(金)	FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/	聴講参加等事前予約 7月12日(金)		鳥取大学 鳥取キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月9日(月)～	第152回グラフィクスとCAD研究発表会	6月21日(金)	当日のみ	穂の国とよはし芸術 劇場プラット(豊橋市)
9月10日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg152.html			
9月9日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2013 (SES2013)	5月10日(金)		東洋大学 白山キャンパス
9月11日(水)	https://sites.google.com/site/sesjp2013/			
9月12日(木)～	第82回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	7月5日(金)	当日のみ	早稲田大学
9月13日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm82.html			
9月19日(木)	連続セミナー 2013 第3回「ビッグデータ時代のセキュリティ」		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html			
9月24日(火)～	平成25年度電気関係学会東海支部連合大会	7月12日(金)		静岡大学 浜松キャンパス
9月25日(水)	http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2013/			
9月24日(火)～	平成25年度(第66回)電気関係学会九州支部連合大会	7月16日(火)		熊本大学 黒髪南地区
9月25日(水)	http://www.jceee-kyushu.jp/			
9月25日(水)	2013年度関西支部 支部大会	6月21日(金)		大阪大学 中之島センター
	http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2013/index.html			
9月26日(木)～	第95回数理モデル化と問題解決研究発表会	7月26日(金)	当日のみ	熊本県立大学
9月27日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps95.html			
10月3日(木)	連続セミナー 2013 第4回「ライフログとビッグデータ」		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html			
10月12日(土)～	第121回コンピュータと教育研究発表会	8月22日(木)	当日のみ	中京大学附属中京高校
10月13日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce121.html			
10月16日(水)～	組込みシステムシンポジウム (ESS2013)	6月14日(金)		国立オリンピック 記念青少年センター
10月18日(金)	http://www.sigemb.jp/ESS/2013/			
11月14日(木)	連続セミナー 2013 第5回「産官学民融合で実現へ！ スマートシティをデザインする」		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html			
12月16日(月)	連続セミナー 2013 第6回「クラウドソーシングとソーシャルメディア」		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html			
12月20日(金)～	第101回音楽情報科学研究発表会		当日のみ	九州大学
12月22日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html			
2014年				
	東海支部学生研究発表会助成	2月28日(金)		
	http://www.ipsj-tokai.jp/jigyou/happyou/index.html#syorui			
3月11日(火)～	第76回全国大会			東京電機大学 東京千住キャンパス
3月13日(木)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/76/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報 (Vol.54 No.6)
- 5月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.54 No.6)
- 5月10日 2013 年度定時総会の開催について
- 4月24日 「改正労働契約法の無期労働契約への転換ルール」に対する声明
- 4月22日 学会創立記念日 会長からのメッセージ

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）

賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）

賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■情報・システム研究機構国立情報学研究所

募集人員 准教授、助教 各若干名（教授採用を考慮する場合もある。助教は任期付き）

研究開発分野 ①情報学プリンシプル研究分野、②アーキテクチャ科学研究分野、③コンテンツ科学研究分野、④情報社会関連研究分野
⑤新たな情報学を拓く研究分野

応募資格 博士の学位取得または取得見込みの方（人文・社会科学系の研究者にあっては、これに準ずる方を含む）

着任時期 原則として2014年4月1日

提出書類 (1)履歴書（別紙様式1）：希望研究部門（研究開発分野）、希望職種（准教授、助教等）を記入のこと、(2)研究業績（別紙様式2）：論文、著書を公表年順に記載し、主要業績3編について、別刷（コピー可）各3部を添付すること、(3)学会における活動状況（別紙様式3）、(4)職域における活動状況（別紙様式4）、(5)社会における活動状況（別紙様式5）、(6)推薦書／照会先：推薦書がある場合、同封すること。推薦書がない場合、応募者の業績について照会できる方の氏名、連絡先を記すこと、(7)就任後の抱負：任意の様式による（2000字程度）※別紙様式1～5については、Webページからダウンロードしてください

応募締切 2013年6月28日（必着）

送付先 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 情報・システム研究機構国立情報学研究所長
「応募書類在中」と朱書き書留 ※応募書類は返却いたしません

照会先 情報学プリンシプル研究系研究主幹・教授 山田茂樹 E-mail: koubo@nii.ac.jp

その他 書類審査および面接による。面接は書類審査合格者を対象とし、これにかかわる旅費、宿泊費等は自己負担となります
より詳細な応募要領はWebページ（<http://www.nii.ac.jp/>）を参照ください

■公立大学法人高知工科大学

募集人員 助教（ポスドク研究員）1名

所属 総合研究所

専門分野 並列プログラミング、統計処理・機械学習アルゴリズム、脳情報処理

応募資格 以下の(1)または(2)に該当し、博士号を取得または取得見込みの方

(1) PCクラスタ等、並列計算機でのプログラミングに関する研究歴があること、(2) データの統計解析、機械学習やパターン認識アルゴリズムに関する研究歴があること

着任時期 2013年9月1日～2014年4月1日の間

提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト（原著論文、総説、学会発表など）、(3)これまでの研究の概要と今後の抱負（A4用紙2枚程度）、(4)応募者の所見をいただける方の連絡先2名

応募締切 2013年7月1日

送付先／照会先 高知工科大学総合研究所・脳コミュニケーション研究センター 岩田 誠

E-mail: braincom-info@kochi-tech.ac.jp Tel(0887)57-2760 ※E-mailにて送付のこと

その他 詳細は本学Webページ（<http://www.souken.kochi-tech.ac.jp/BrainCom/>）をご覧ください

■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員	准教授 1名
専門分野	複雑系工学における自律システムに関する専門分野を対象とする。具体的には、創発性を伴う人工生命、学習・進化、エージェントシステム、およびこれらの応用領域を含め、自律システムの仕組みを科学的に探求するとともに、ソフトウェアの設計・開発を行うためのシステム技術を教育・研究する分野
担当科目	学部、大学院、および、全学教育において、情報工学関連の講義、実験、演習を担当するとともに、学位論文指導を担当
応募資格	博士の学位を有し、教育および研究に熱意を持ち、この分野の顕著な研究業績を有し、産学官連携・地域社会貢献に積極的で、さらに国際的視野を持つ方。着任後、博士後期課程の指導ができる方
着任時期	2013年10月1日のできるだけ早い時期
提出書類	(1)履歴書、(2)研究業績リスト、(3)学会活動歴、(4)教育業績説明書、(5)現在までの研究歴と研究業績の概要 [*] 、主要論文別刷(5編、コピー可)、(6)将来の教育と研究に対する展望と抱負 [*] 、(7)今後の大学のあり方に関する所見 [*] 、(8)応募者について意見を伺える方2名 [*] はいずれも2000字以内 (1)から(8)までの書類について原本1部、コピー4部提出。詳細は本学Webページ(http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/recruit.php)を参照のこと
応募締切	2013年7月12日(必着)
送付先	〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学大学院情報科学研究科事務室 総務担当 Tel(011)706-6514 [*] 応募書類は当人事選考以外の目的には使用しませんが原則として返却いたしません
照会先	大学院情報科学研究科・複合情報学専攻・専攻長 山本雅人 E-mail: masahito@complex.ist.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6444
その他	書類選考後に面接を行う場合があります。ただし、面接にかかる費用については各自ご負担願います 2014年度より組織改編を予定しているため、担当科目が変更になる場合があります 必要に応じて、大学の管理運営に関する学内委員として従事していただきます

■東北大学大学院情報科学研究科

募集人員	教授 1名
所属	情報基礎科学専攻ソフトウェア基礎科学分野
専門分野	プログラムや仕様記述などの形式化に基づいた開発手法や検証手法の構築を通して高信頼性・高生産性を有するソフトウェア開発に貢献するための研究と教育
応募資格	博士号取得者
着任時期	2104年4月頃、またはそれ以降のなるべく早い時期
応募締切	2013年7月26日(必着)
照会先	情報基礎科学 専攻長 須川敏幸 E-mail: sugawa@math.is.tohoku.ac.jp
その他	詳細は本学Webページ (https://www.is.tohoku.ac.jp/publicadv/index.html) をご覧ください

■岐阜大学工学部電気電子・情報工学科

募集人員	准教授 1名
所属	情報コース
専門分野	ソフトウェアサイエンスの基礎分野(ソフトウェア工学、ソフトウェア基礎論)
仕事内容	数理論理学、形式言語理論、アルゴリズム、計算量理論、関数型言語、項書き換え系などの基礎理論の成果を背景にして、信頼性と安全性が高い実用的なソフトウェアを開発する方法や組込みシステムなどについて研究するとともに、学生の教育研究指導を行う
担当科目	情報系基礎科目(情報数学を含む)、プログラミング基礎、ソフトウェア工学、オートマトン理論、オペレーティングシステム、コンパイラなど。一般教養の授業を担当していただくこともあります
応募資格	博士の学位を有する方、大学院博士後期課程の講義を担当できる方。情報系基礎教育を熱意を持って担当していただける方
着任時期	2014年1月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	(1)履歴書、(2)研究業績リスト(原著学術論文、国際会議論文(査読の有無別)、著書、解説、特許、その他に分類のこと)、(3)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、(4)外部研究資金の獲得状況(科学研究費、共同研究、受託研究など)、(5)これまでの研究教育活動の概要(A4用紙1~2枚)、(6)教育・研究に対する抱負(A4用紙1~2枚)、(7)応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先
応募締切	2013年8月30日(必着)
送付先	〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部電気電子・情報工学科情報コース 事務室 Tel(058)293-2673 「准教授応募書類在中」と明記
照会先	電気電子・情報工学科情報コース 河瀬順洋 E-mail: kawase@gifu-u.ac.jp
その他	(1)選考方法:一次選考は書類審査、二次選考では面接を行います、(2)合否にかかわらずメールまたは郵便にて結果を通知します、(3)岐阜大学工学部応用情報学科は2013年4月より、同電気電子・情報工学科情報コースに改組しました

■熊本大学大学院自然科学研究科

- 募集人員 女性教員 助教 1名
 所属 情報電気電子工学専攻
 専門分野 情報工学, 電子工学, 通信工学のいずれかの分野
 応募資格 応募時点で博士の学位を有する女性研究者で, 研究者としての経験 (PDを含む) を有する方 (規定により博士課程在籍者は採用できません)
 着任時期 2013年度内のできるだけ早い時期
 提出書類 ①履歴書, ②業績リスト, ③主要論文別刷 (5編まで, コピー可), ④これまでの研究の概要 (A4用紙2000字程度), ⑤今後の研究計画と抱負 (A4用紙1000字程度), ⑥学生の教育に対する抱負 (A4用紙1000字程度), ⑦所見を求め得る方2名の氏名・役職・連絡先・E-mailアドレス
 応募締切 2013年8月30日17時 (必着)
 送付先/照会先 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 専攻長 松島 章
 E-mail: matsua@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3636 (直通)
 その他 任期5年, 審査により再採用可. なお, 再採用は2回までとします (ただし, 業績が優れていると認められた場合には, 当初より准教授 (任期なし) または教授 (任期なし) としての採用もあり得ます)
 研究支援: 採用された女性教員が国際的に活躍する研究者として育つように物心両面から支援します. メンタ教員を配置し, 研究面での支援を行うとともに, 採用後の2年間は毎年100万円の研究費が補助金または自主経費により措置されます. その他の資金については採用部局の規定に従います
 詳細はWebページ (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/>) を参照ください

■群馬工業高等専門学校電子情報工学科

- 募集人員 助教 1名
 専門分野 情報工学
 担当科目 電子情報工学科における電子情報関係科目および工学実験, 卒業研究指導ならびに専攻科生産システム工学実験等
 応募資格 1) 採用時において博士の学位を有すること, 2) 教育・研究・学生指導および各校務に熱意を持って当たれる方, 3) 科研費等外部研究資金獲得に意欲のある方, 4) 地域の産官学との共同研究や出前授業など地域貢献に熱意のある方
 着任時期 2014年4月1日 (予定)
 提出書類 1) 履歴書 (市販の書式), 2) 研究業績リスト (レフリー付き論文・国際会議発表・著書・その他に分類のこ), 3) 主要論文別刷 (5編以内, コピー可), 4) これまでの研究概要 (A4用紙1000字程度) 1部, 5) 着任後の教育・研究に関する抱負 (A4用紙2000字程度) 1部, 6) 推薦書1通
 応募締切 2013年8月30日 (必着)
 送付先 〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580 群馬工業高等専門学校 総務課人事・労務係
 「電子情報工学科 教員応募書類」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません
 照会先 電子情報工学科長 鶴見 智 E-mail: tsurumi@ice.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9282 (ダイヤルイン)
 その他 詳細は本校Webページ (<http://www.gunma-ct.ac.jp/gakko/13.htm>) を参照ください

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

- 募集人員 教授 1名
 所属 情報システム基盤学専攻・情報システム基礎学講座
 専門分野 応用を指向したコンピュータ科学, 情報システム学もしくは情報科学の基礎的な分野に精通し, それを活用した応用分野を牽引して顕著な実績のある方. 応用分野は問わないが, 今後の発展が期待できる分野であること, 修士・博士課程の学生にとって魅力的な分野であること, を重視する
 担当科目 情報システム基礎論1または2
 応募資格 i) 博士の学位を有し, 上記専門分野の発展に貢献できること, ii) 大学院博士後期課程の研究指導を担当できること, iii) 日本語により学生を指導できること
 着任時期 2014年1月1日以後なるべく早く
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (10編程度), 今後の研究計画と抱負, 参考意見を伺える方の氏名 (国内2名, 国外2名) 等
 ※詳細は正式公募文書参照
 応募締切 2013年8月30日 (必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科・情報システム基盤学専攻 事務室
 「FS専攻・情報システム基礎学講座・教員応募書類在中」と朱書き
 照会先 情報システム基盤学専攻 専攻長/教授 多田好克 E-mail: tada@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5611
 その他 本件の正式な公募文書はWebページ (<http://www.is.uec.ac.jp/>) の教職員公募欄に掲載中です. 必ずご覧いただき, その指示に沿って応募ください

■広島大学大学院工学研究院情報部門

募集人員 教授 1名
所 属 情報部門(計算機基礎学)
専門分野 コンピュータネットワークまたはコンピュータシステムの基礎分野
担当科目 大学院:情報工学に関する科目, 学部:情報工学の専門科目から2科目程度
着任時期 2014年4月1日, またはそれ以降のできるだけ早い時期
応募締切 2013年8月30日(必着)
そ の 他 詳細は本学Webページ (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/info/>) をご覧ください

■岡山大学大学院自然科学研究科

募集人員 准教授 1名
所 属 産業創成工学専攻計算機科学講座
専門分野 知能設計工学等の情報工学の分野(情報検索, Web情報システム, 電子図書館, データマイニング等)
応募資格 (1)博士の学位を有し博士後期課程の担当が可能なこと, (2)専門分野において優れた研究業績を有すること, (3)教育, 研究, 研究室運営に対して十分な能力と熱意があること
着任時期 2014年1月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 ①履歴書(様式1), ②学会および社会における活動(様式2), ③教育に関する経歴書(様式3), ④研究業績概要書(様式4), ⑤研究業績リスト(様式5), ⑥主要論文別刷等, ⑦推薦書1通。なお, 応募者について照会可能な方2名以上の氏名・連絡先を推薦書に代えることができます ※様式1~5は, 岡山大学大学院自然科学研究科Webページ (http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html) からダウンロードしてご使用ください
応募締切 2013年9月20日(必着)
送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座 講座主任 太田 学
そ の 他 詳細は本学Webページ (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/bosyu/kyoiku/kyoiku.html>) をご覧ください

FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム 聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2013Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

情報処理学会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)とは2002年から合同で毎年秋季にFIT(Forum on Information Technology)を開催しており、2013年9月には第12回目を鳥取大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROMの事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。また、残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期：2013年9月4日(水)～6日(金)

会 場：鳥取大学 鳥取キャンパス (鳥取県鳥取市湖南町南4-101)

交 通：鳥取空港からタクシー約5分、徒歩約30分。

鳥取駅から山陰本線で鳥大前駅約10分、鳥大前駅下車徒歩3分。

鳥取駅前北口バスターミナルからバスで鳥大前または鳥商前

バス停約30分、バス停下車徒歩5分。

※鳥取空港～鳥取大学 間は、航空便ダイヤにあわせてシャトルバスを運行予定 約10分

※お車(自家用車)での御来場は御遠慮下さい。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2013Webサイトに掲載致します)

[招待講演企画・表彰式]

◎船井業績賞受賞記念講演

5日14:00-15:15 第1イベント会場(共通教育棟 A棟2F A20)

「Rubyが成し遂げたこと」

まつもと ゆきひろ (Rubyアソシエーション 理事長)

◎FIT学術賞表彰式

5日13:00-13:50 第1イベント会場(共通教育棟 A棟2F A20)

[イベント企画]

第1イベント会場(共通教育棟 A棟2F A20)

- 4日 09:30-12:00 国際情勢の変化から見るサイバー攻撃
～その本質を探る～
- 13:00-15:00 第2回統合的評価基準に基づく電子透かし
コンテスト
～チャレンジングな評価基準を超えられるか！～
- 15:30-17:30 身近になったライフログ
- 5日 13:00-13:50 FIT学術賞表彰式
- 14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演
- 15:30-17:30 ビッグデータ時代到来！
～ウェブ最先端企業が最新動向を語る～
- 6日 09:30-12:00 環境問題とサイバーワールド
～身近な問題にどうやって取り組むか～
- 13:00-16:00 映像符号化の最新動向 ～HEVC標準化～

第2イベント会場(共通教育棟 C棟2F C21)

- 4日 09:30-12:00 人文科学における時空間情報の活用
- 13:00-15:00 ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム
- 15:30-17:30 受賞者フォーラム：メディア認識・理解の
最前線と若手へのメッセージ
- 5日 09:30-12:00 ICTにおける産業界が望むヒューマンリソース
～ICTの将来を担うキャリアを究める～
- 15:30-17:30 ソーシャルメディアの分析
～経済物理学、数理モデルの観点から～
- 6日 09:30-12:00 学びを科学する：MOOCsでCloudなBig Dataを
Learning Analytics !
- 13:00-16:00 基礎理論が導く最先端技術：計算限界解明への取
り組みと超高速アルゴリズム開発

■聴講参加費(税込)

参加区分	事前予約(7/12まで)	当日
会 員	8,000円	10,000円
非会員	17,000円	20,000円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROM含。

※学生聴講参加にはプログラム・参加章。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

会 員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)の個人会員に限りです。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生：会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。

■懇親会[予定] ※参加を希望される方は必ず事前予約をお願いします

開催日時：9月5日(木) 18:45～20:45

会 場：ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(東)

参加費(税込)：社会人 5,000円、学生 2,000円、

一般講演座長または査読者 3,000円

※FIT会場から懇親会への移動は送迎バスを運行予定

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格(税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円/冊	15,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※学生の方は、会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊(カバー付き)、DVD-ROM

※講演論文集の掲載分野(分冊構成) [予定]

(FIT査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録)

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録(著者、所属、キーワード 索引付)

※講演論文集セットまたは分冊の受取方法

事前予約申込フォームの「会場受取り」または「FIT終了後郵送(10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。「会場受取り」にされた方へは、申込受付完了メールに引換券(PDF)が添付されておりますので、御来場の際はその引換券をプリントアウトして御持参頂き、総受付にお渡し下さい。

■聴講参加・懇親会参加・講演論文集の事前予約申込・送金方法

申込締切：2013年7月12日(金) 必着

申込方法：FIT2013Webサイトからお申込み下さい。

送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので指定の口座へお振込をお願い致します。

送金期日：2013年10月31日(木)

※FIT会場での現金支払い、一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

※聴講参加または懇親会参加申込を頂いた方へは、申込受付完了メールに引換券(PDF)が添付されておりますので、御来場の際はその引換券をプリントアウトして御持参頂き、総受付にお渡し下さい。

※DVD-ROM(講演論文集セット付属のものは除く)は、事前発送(8月下旬予定)致します。

■次年度のFIT2014開催

2014年9月3日(水)～5日(金) 筑波大学にて開催予定

■問い合わせ(FIT2013幹事学会)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人情報処理学会 事業部門
Tel. 03-3518-8373 Fax. 03-3518-8375
e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

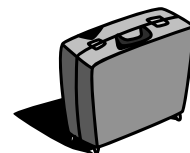
■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格
原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き
 - 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Faxなど)の記載を忘れずに。
 - 3) 本文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
 - 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆のご案内/書評・会議レポート」
(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>)を参照してください。
4. 原稿の取扱い
投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
5. 照会/応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp



IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本学会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数: 約22,000通(原則毎週月曜日配信)
- 読者層: 本学会員および非会員
- 形式: テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置: ヘッダ(目次の上)
フッタ(本文の最下行)
- 掲載料: ヘッダ: 1回52,500円(税込)
フッタ: 1回21,000円(税込)
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先: [広告代理店]
アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切: 毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本:
— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時: 1月10日(火)・11日(水)・12日(木) 13:00～17:00
会場: ○○コンベンションセンター
会費: 情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください: <http://www.....com/>

— [広告] —



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce one year extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2015 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2015 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。

また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: editt@ipsj.or.jp

個人会員優待サービス

個人会員（正会員・名誉会員・終身会員・学生会員）の皆様にご利用いただける各種優待サービスをご案内いたします。
詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html>

■ホテル 【割引率 10～53%】

| JR ホテルグループ | グランビスタ ホテル&リゾート | ダイワロイヤルホテルズ | 東急ホテルズ | 阪急阪神第一ホテルグループ | ホテル法華クラブ | プリンسホテル | 都ホテルズ&リゾート | FUJIYAMA 倶楽部 | ウィークリーマンション東京 |

■レンタカー 【割引率 10～51%】

| ニッポンレンタカー | 日産レンタカー | マツダレンタカー |

■パック旅行 【割引率 2～5%】

| (株) 日本旅行 | 近畿日本ツーリスト (株) | トップツアー (株) | 京王観光 (株) |

■その他

| UC 丸善アカデミックカード | (株) パーシティウェブ | デスカット |

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内



カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月 15 日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望月
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax 可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の 5 日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (23,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1 通あたり
 約16 円!

※ 価格はすべて税込

基本価格 367,500 円

対象：全会員 23,000 通 配布

(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
 (基本価格の 40% Off!) **220,500 円**

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の 80% Off!) **73,500 円**

* 情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 判または A3 判二つ折り (その他についてはご相談ください)
 用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

CONTENTS

Preface

Attention for the Disabled

Ken ENDO (Sony Computer Science Labs.)

648 Move forward to Platformer : I Also Wish to Design a Plaza for Young People

Masaru KITSUREGAWA (National Institute of Informatics)

Special Features

Normally-Off Computing

652 0. Foreword

Shinobu MIWA (The Univ. of Tokyo)

654 1. Challenges and Opportunities of Normally-off Computing

Hiroshi NAKAMURA, Takashi NAKADA and Shinobu MIWA (The Univ. of Tokyo)

661 2. Normally-off Computing Technology for Sensor-node Systems

Masanori HAYASHIKOSHI, Toru SHIMIZU (Renesas Electronics Corp.) and Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)

668 3. Normally-off Computing for Smart Mobile Devices

Shinobu FUJITA, Keiko ABE, Kumiko NOMURA and Hiroki NOGUCHI (Toshiba Corp.)

677 4. Normally-off Computing Techniques for Wearable Healthcare Systems

Yoshikazu FUJIMORI (ROHM Co., Ltd.), Shintaro IZUMI, Hiroshi KAWAGUCHI (Kobe Univ.), Toshikazu SHIGA (Omron Healthcare, Co., Ltd.) and Masahiko YOSHIMOTO (Kobe Univ. / JST CREST)

Special Features

Networked Robotics Engagement with People and Real Field

684 0. Foreword

Miwako DOI (Toshiba Corp.) and Hideyuki TOKUDA (Keio Univ.)

686 1. Network Robots under Evolved Ubiquitous Computing Environment - Cooperation with Smart Phones, Cloud, IoT and Smart Cities -

Hideyuki TOKUDA (Keio Univ.)

690 2. Spreading Networked Robotics - Selecting Your Own Robotic Services -

Norihiro HAGITA (ATR Intelligent Robotics and Communications Labs.)

694 3. Tele-operated Robot with a Minimal Design of Human

Hiroshi ISHIGURO (Advanced Telecommunications Research Institute International / OSAKA Univ.), Takashi MINATO and Shuichi NISHIO (Advanced Telecommunications Research Institute International)

698 4. Cyber-physical Network Robotics - Development of Social and Embodied Intelligence Simulator : SIGVerse -

Tetsunari INAMURA (National Institute of Informatics / The Graduate Univ. for Advanced Studies)

702 5. Network Robot Always Together

Daisuke YAMAMOTO and Kazushige OUCHI (Toshiba Corp.)

706 6. Daily Communications of the Elderly and Anthropomorphic Robot - A Technology to Realize the Life with Dignity in the Old Age -

Yoshinobu YAMAMOTO (The National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

710 7. Geminoid at Cafe in Europe

Kohei OGAWA (Osaka Univ.)

715 8. Networked Robots System for Cooperative Customer Navigation in a Real-world Retail Shop

Takahiro MIYASHITA and Kazuhiko SHINOZAWA (Advanced Telecommunications Research Institute International)

Airticles

734 Machine Learning with Structural Information : Structured-Regularization and Submodularity

Yoshinobu KAWAHARA (Osaka Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

683 Historical Research Is Not Useful?

Hiroharu ASAH (Hitachi, Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

719 Why Depend on Public Education?

Masami HAGIYA (The Univ. of Tokyo)

720 Building of Corporate Mission and Extension to IT Professional Development Triggered by Integration of Three IT Vendors

Tomomi SUZUKI (MS & AD Systems Co., Ltd.)

724 Develop Professional by Repeating 'What Should Be Done' - Aiming at Developing People Who Have Technical Capabilities and Humanity -

Hidenori FUKUTOMI and Mariko HIRABAYASHI (Fujitsu Mission Critical Systems LTD.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

728 Oral History : Interview with Dr. Ohno Yutaka

Chigusa KITA (Kansai Univ.), Masahiro MAEJIMA and Akihiko YAMADA (National Museum of Nature and Science)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

ご意見をお寄せください！

【7月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2013年7月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：障害者への気配り 10-1- []
- 巻頭言：ITをイネーブラとするプラットフォーム学会を目指す：若手やんちゃ枠も作りたい—会長就任にあたって— 10-2- []
- 小特集：ノーマリーオフコンピューティング
1. ノーマリーオフコンピューティング 10-3- []
2. センサ端末におけるノーマリーオフコンピューティング 10-4- []
3. 携帯情報端末におけるノーマリーオフコンピューティング 10-5- []
4. ヘルスケア応用生体情報計測センサにおけるノーマリーオフコンピューティング 10-6- []
- IT好き放題：歴史活動は役に立たないか？ 10-7- []
- 特集：ネットワークロボット、その人と街とのかわり
1. コピキタスコンピューティング環境の進化とネットワークロボット 10-8- []
2. ネットワークロボットの広がり 10-9- []
3. 人としてのミニマルデザインを持つ遠隔操作型ロボット 10-10- []
4. cyber-physical ネットワークロボティクス 10-11- []
5. いつでも一緒にネットワークロボット 10-12- []
6. 高齢者の日常コミュニケーションと擬人観的ロボット 10-13- []
7. ヨーロッパのカフェにたたずむジェミニノイド 10-14- []
8. 顧客を誘導するネットワークロボット 10-15- []
- べた語義：コラム：いまだに公教育に頼るべきか 10-16- []
- べた語義：3社統合をきっかけにしたミッション・ビジョン・バリューの策定と人材育成への展開 10-17- []
- べた語義：「あたりまえ」の繰り返しによるプロフェッショナルの育成 10-18- []
- 古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：大野 豊氏インタビュー 10-19- []
- 構造的な事前情報を用いた機械学習 10-20- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 ノーマリーオフコンピューティング：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
〔13-2〕 ネットワークロボット，その人と街とのかかわり：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

次号（8月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」生活をデザインする：生活機能構成学のアプローチ

生活を科学的にデザインする：生活構造データベースによる生活機能の再構成／「生活機能構成学」への臨床医学からの示唆：その「三位一体」の取り組みから／生活機能構成学確立のための戦略—ICF（人の「生活機能」を捉えるための「共通言語」）に立って—／データに基づく生活機能構成の理解と分析—大規模データ活用による日常へのアプローチ—日常生活理解のための正準化表現による生活データベースの構築と活用／国際生活機能分類（ICF）を用いた生活支援ロボットの開発／国際生活機能分類（ICF）を用いた社会参加支援

解 説：マイノリティのための情報処理—難病支援を題材に— 森田瑞樹 他

報 告：2012年度論文賞の受賞論文紹介／2012年度長尾真記念特別賞紹介／2012年度喜安記念業績賞紹介

教育コーナー：ぺた語義

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

情報処理学会誌での特集のエディタは、今回でたぶん10回を超えていると思います。毎回、やっとのことで集めた原稿に対し、読者にとって分かりやすくするためにどこまで突っ込んでよいものやら悩みます（著者側からすると、言いたいことをいうエディタと思われているとは思いますが、一応悩んでいます）。

今回は連休があることと、連休前の1週間もブラジルに出張で、ネットにアクセスできるのか、アクセスできても12時間の時差で、締切に間に合うのか、ハラハラドキドキでした。

が、著者の皆様の協力と、事務局の強力なサポート、そして中島編集長の突っ込みをいただきながらも、どうにか締切に間に合わせることができました。

ところで、特集の中で触れられている大阪大学石黒浩教

授をモデルとしたアンドロイドロボットですが、研究室に立っていると、学生も石黒先生と間違えて「おはようございます」とあいさつしていくそうです。人間ってよく見ているようで見ていないのか、思い込みで行動しているのかなど、いろいろ話題はつきません。講演依頼が重なってしまったときは、双方とも、石黒先生本人よりは、アンドロイドロボットの講演を希望されたとも伺います。本人よりもアンドロイドロボットに人気があるようになると、その存在がありがたいのかどうかなかなか微妙なところになります。それならいっそのこと、小職のアンドロイドには、執筆も代わりにやってくればありがたいのにと思うこのごろです。

（土井美和子／本特集ゲストエディタ）

「それっていったい何?」。ノーマリーオフコンピューティングというキーワードを誰かに話すと最初に返ってくる反応です。それは本誌の編集委員会においても例外ではなく、この企画を提案させていただいた際もやはり冒頭の答えが返ってきました。

ノーマリーオフコンピューティングがコンピュータシステムの低消費電力化の話であることは、感のいい人であれば気づくでしょう。ですが、コンピュータシステムの低消費電力化そのものは専門家が長年取り組んできた課題なわけですし、ノーマリーオフコンピューティングで目指す技術とこれまでの低消費電力化技術とで一体何が異なるのかを、キーワードを聞いただけで理解できる人はまずいません。また、本小特集でも紹介した、ノーマリーオフコンピューティングを実現する上で核となる技術であるパワーゲーティングにしても次世代不揮発メモリにしても、単体の技術としては長年の研究開発の歴史があるわけで、それぞれの専門家にとっては特別新しい話ではありません。「ノーマリーオフコンピューティング」という言葉には概念的に新しい響きがあるのでしょう。ですが、専門分野が近い人ほど、これまでと技術的に何が違うのかが分からなくなり、冒頭の感想に至るのだと思われます。

「ノーマリーオフコンピューティングとは、『コンピュータシステムの観点から』パワーゲーティングと次世代不揮

発メモリを活用することで、システムの低消費電力化を目指すものである」。本小特集で紹介したように、これがノーマリーオフコンピューティングの定義です。

ノーマリーオフコンピューティングプロジェクトにはさまざまな機関から、さまざまな背景を持った技術者が多く集まっています。普段は研究や学会活動とは縁がない方もたくさんいらっしゃいます。目の前の業務をこなしているとなついつい上記の定義を忘れてしまいがちなのですが、本小特集の執筆・編集を進めるにあたり、全員が改めてノーマリーオフコンピューティングの定義に立ち戻る必要がありました。いろいろと難しい面もありましたが、今回の執筆作業を通じて、各人が普段行っている仕事の意義を問い直すきっかけになったと思っています。本小特集がプロジェクト成功への起爆剤となってくれば、この企画を提案した私としても嬉しい限りです。

ノーマリーオフコンピューティングはまだ産声を上げたばかりです。アプリケーション、システムソフトウェア、ハードウェアといったさまざまな分野の技術者の協力がなくては、コンピュータシステムの低電力化は成し得ません。本小特集を読んで興味を持った読者の方がひとりでも多くこの分野に参入し、活性化してくれることを期待します。

（三輪 忍／本小特集エディタ）

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」54巻7号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …………… 表2 サイエンス社 …………… 目次前
 オーム社 …………… 表2対向 日本マイクロソフト …………… 表4

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
 各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20～50口)



富士通 (株)



日本電気 (株)



三菱電機 (株)



(株) 東芝



日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



グーグル (株)



GREE (株)



(株) NTTドコモ



日本電信電話 (株)



日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)



沖電気工業 (株)



楽天 (株)



情報サービス産業協会



(株) うえじま企画



三美印刷 (株)



ソニー (株)



パナソニック (株)



ぷらっとホーム (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー (株)



三協印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



(株) ナレッジクリエーション
テクノロジー



日本放送協会
放送技術研究所



(株) 日立システムズ

インテル (株)

【A～Z】

(株) ATR-Trek
 (株) CIJ
 (株) HBA
 (株) IT働楽研究所
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) JTB 法人東京 法人営業川崎支店
 (株) KDDI 研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC システムテクノロジー (株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NEC ソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールドディング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ・アイ
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 (株) OKI ソフトウェア
 (株) PFU
 SCSK (株)
 TDC ソフトウェアエンジニアリング(株)
 TIS (株)

【あ行】

アートシステム(株)
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン・コムグループ(株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 アドコム・メディア(株)
 (株) アドバンス トラフィック システムズ
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 (株) インテック
 インテル(株)
 インフォサイエンス(株)
 (株) ヴァル研究所
 ヴィスコ・テクノロジー(株)
 (株) うえじま企画
 (株) エクサ
 エクセルソフト(株)
 (株) エスケーエレクトロニクス
 エヌ・ディー・アール(株)
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会

(株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構
 (公財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子専門学校
 関電システムソリューションズ(株)
 (一財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 技術資料センター
 キヤノン IT ソリューションズ(株)
 キヤノンソフトウェア(株)
 (公財) 九州先端科学技術研究所
 共立出版(株)
 (株) 近代科学社
 グーグル(株)
 グリー (株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 国土館大学図書館・情報メディアセンター
 国立国会図書館
 コニカミノルタ(株)

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報システム
 システム・オートメーション(株)
 実教出版(株)
 シャープ(株)
 (株) ジャステック
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (株) 情報科学センター
 (一社) 情報サービス産業協会
 (独) 情報処理推進機構
 (独) 情報通信研究機構
 新日鉄住金ソリューションズ(株)
 (株) ステラジアン
 住友電気工業(株)
 (株) セガ
 (株) セカンドセレクション
 セコム(株)
 ソニー (株)
 ソニーグローバルソリューションズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール

(一財) ソフトウェア情報センター
 フトウェア特許情報センター

【た行】

拓殖大学
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (公財) 鉄道総合技術研究所
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) 電盛社
 (株) デンソー
 (株) デンソーアイティーラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (株) 電通国際情報サービス
 (一財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 (株) 東芝
 東芝インフォメーションシステムズ(株)
 東芝システムテクノロジー (株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 東和システム
 トーヨー企画(株)
 特許庁
 トップバン・フォームズ(株)
 (株) トヨタコミュニケーションシステム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所
 (株) トヨタデジタルクルーズ
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノロジー
 (株) ニコンシステム
 日鉄日立システムエンジニアリング(株)
 日本アルゴリズム(株)
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許技術情報センター
 日本アイ・ピー・エム(株)
 (社) 日本化学会
 日本銀行
 日本原子力研究開発機構
 日本証券テクノロジー(株)
 (一財) 日本情報経済社会推進協会
 (一社) 日本情報システム・ユーザー

協会
 日本信号(株)
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (一財) 日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本マイクロソフト(株)
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 日本旅行
 (株) 野村総合研究所

【は行】

(株) ハイエレコン
 パイオニア(株)
 萩原電気(株)
 (有) バクサリー
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) AVC ネットワーク社
 パナソニック(株) エコソリューションズ社
 パナソニック SN エバリュエーションテクノロジー (株)
 パナソニック システムネットワークス(株)
 (株) ハピネット
 (株) ビーコン インフォメーションテクノロジー
 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)
 (株) 日立アドバンスデジタル
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立システムズ
 (株) 日立情報制御ソリューションズ
 (株) 日立製作所 情報・通信システム社
 (株) 日立製作所 中央研究所
 (株) 日立製作所 中国支社
 (株) 日立製作所 東北支社
 (株) 日立製作所 横浜研究所
 (株) 日立ソリューションズ
 (株) 日立ソリューションズ西日本
 (株) 日立ソリューションズ東日本
 (株) 日立ソリューションズ・ビジネス
 (株) 日立テクニカルコミュニケーションズ
 (株) ファースト
 (株) フォーカスシステムズ
 (株) フォーラムエイト
 (株) フジキカイ 名古屋工場
 富士通(株)
 (株) 富士通アドバンスエンジニアリング
 (株) 富士通エフサス
 (株) 富士通九州システムズ
 (株) 富士通システムズ・イースト
 (株) 富士通ソーシャルサイエンス
 ラボラトリ
 フジテック(株)

富士電機(株)
 富士フィルム(株)
 船井電機(株)
 フューチャーアーキテクト(株)
 ぷらっとホーム(株)
 古野電気(株)
 ペンギンシステム(株)
 (株)堀場製作所
 (株)本田技術研究所基礎技術研
 究センター

【ま行】

マツダ(株)

三井情報(株)
 (株)ミックナイン
 三菱UFJモルガン・スタンレー証
 券(株)
 三菱スペース・ソフトウェア(株)
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステ
 ムズ(株)
 三菱電機コントロールソフトウェア
 (株)
 三菱電機コントロールソフトウェア
 (株)伊丹事業所
 三菱電機情報ネットワーク(株)
 三菱電機メカトロニクスソフトウェ

ア(株)
 (株)三菱東京UFJ銀行
 三菱プレジジョン(株)
 武蔵野美術大学
 (株)メイトツコム

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究
 所
 ヤマハ(株)
 横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)
 リードエグジビジョンジャパン(株)
 (株)リコー
 (株)リナックス総合研究所
 (株)リンクレア
 (株)ロックオン

< 2013年度入会予定 >
 (株)富士通システムズ・ウエス
 ト

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益
 財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公
 財)と省略した。



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!

申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率(正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) を
 ご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先: 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375